

結果の概要(甲調査)

1 県人口

(1) 概況

平成13年10月1日現在の広島県の人口は、2,877,882人となった。

男女別人口をみると、男子1,391,063人、女子1,486,819人で、人口性比(女子を100としたときの男子の割合)は93.6となっている。

平成12年10月1日から13年9月30日の1年間の人口動態をみると、自然増加4,421人(出生数27,660人、死亡数23,239人)、社会減少5,454人(転入者数152,132人、転出者数157,586人)となり、この1年間に人口は1,033人減少した。推計人口の対前年比減少は、調査開始(昭和40年)以来初めて減少に転じた平成11年から3年連続である。

また、世帯数は1,108,307世帯で、1世帯当たり人員は2.60人となっている。(表1)

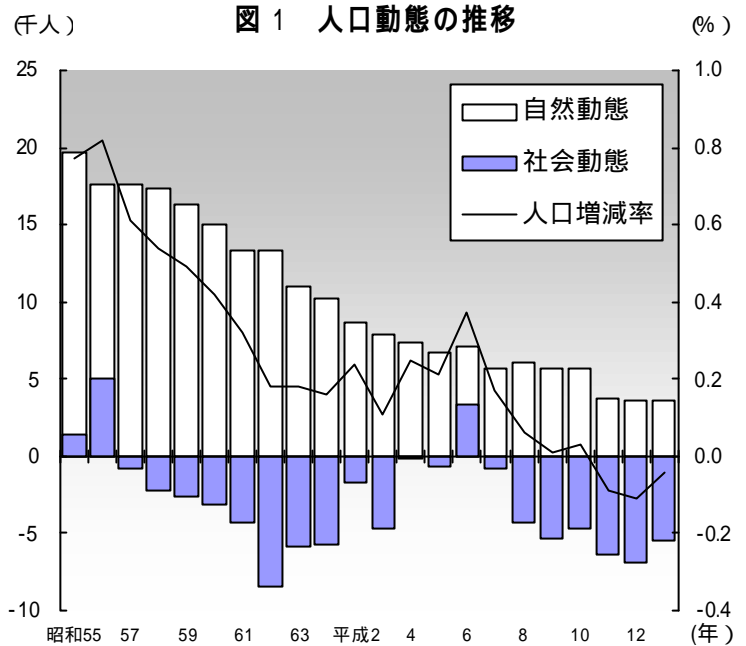


表1 広島県人口・人口動態の推移

(単位：人，%，世帯)

年次	総人口			人口性比	人口増減数			人口増減率			世帯数
	男	女			自然増加	社会増加		自然増加	社会増加		
平成元年	2,842,888	1,382,499	1,460,389	94.7	4,478	10,180	5,702	0.16	0.36	0.20	967,049
2	2,849,847	1,385,297	1,464,550	94.6	6,959	8,686	1,727	0.24	0.31	0.06	981,096
3	2,853,056	1,385,514	1,467,542	94.4	3,209	7,895	4,686	0.11	0.28	0.16	995,322
4	2,860,266	1,389,060	1,471,206	94.4	7,210	7,381	171	0.25	0.26	0.01	1,009,618
5	2,866,259	1,392,212	1,474,047	94.4	5,993	6,690	697	0.21	0.23	0.02	1,023,444
6	2,876,756	1,397,225	1,479,531	94.4	10,497	7,122	3,375	0.37	0.25	0.12	1,035,524
7	2,881,748	1,398,986	1,482,762	94.4	4,992	5,724	732	0.17	0.20	0.03	1,049,588
8	2,883,449	1,398,589	1,484,860	94.2	1,701	6,068	4,367	0.06	0.21	0.15	1,062,249
9	2,883,741	1,397,629	1,486,112	94.0	292	5,639	5,347	0.01	0.20	0.19	1,072,758
10	2,884,720	1,397,476	1,487,244	94.0	979	5,618	4,639	0.03	0.19	0.16	1,082,804
11	2,882,088	1,395,353	1,486,735	93.9	2,632	3,787	6,419	0.09	0.13	0.22	1,091,882
12	2,878,915	1,392,496	1,486,419	93.7	3,173	3,667	6,840	0.11	0.13	0.24	1,099,536
13	2,877,882	1,391,063	1,486,819	93.6	1,033	4,421	5,454	0.04	0.15	0.19	1,108,307

注1 印の年次は国勢調査，その他の年次は県の推計値。各年次とも10月1日現在の数値。

2 増加数は、各年とも前年10月1日から当年9月30日までの合計値。

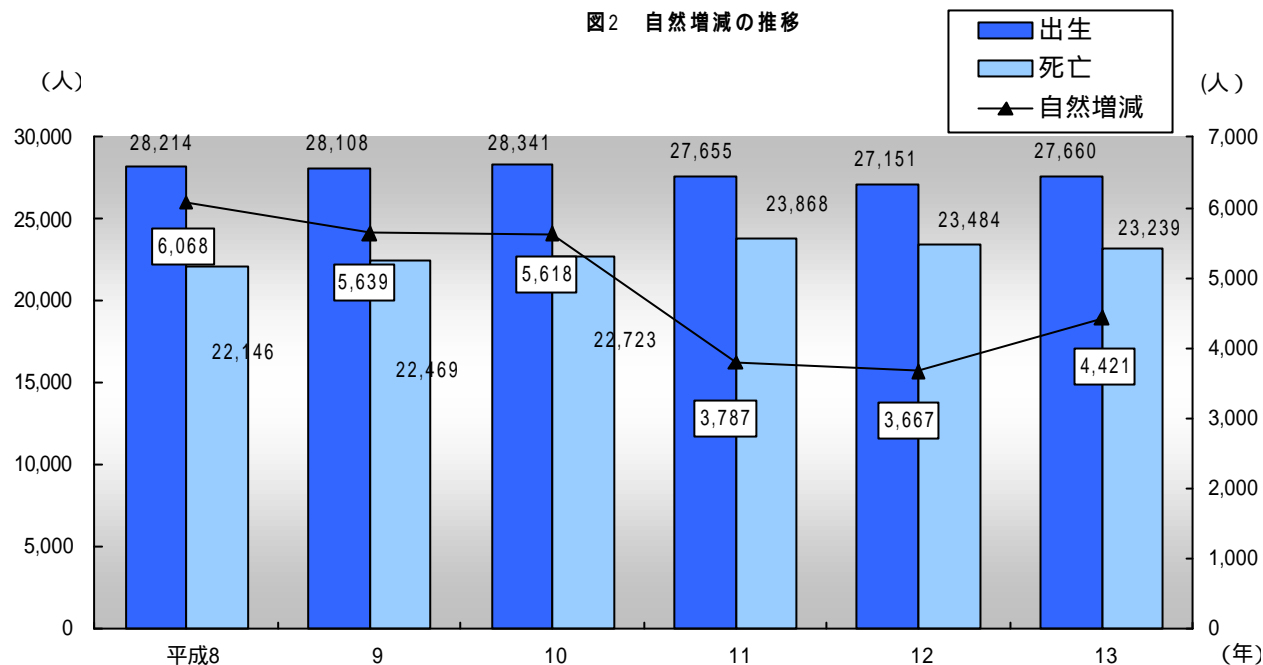
3 人口増加の平成6年3月までは、自治省「住民基本台帳月報」による。平成6年4月からは、甲調査による。

4 平成元年～平成5年の自然増加は厚生省「人口動態統計調査」，平成5年10月から6年3月までは自治省「住民基本台帳月報」，平成6年4月以降は甲調査による。

5 社会増加は、人口増加から自然増加を差し引いて算出した。

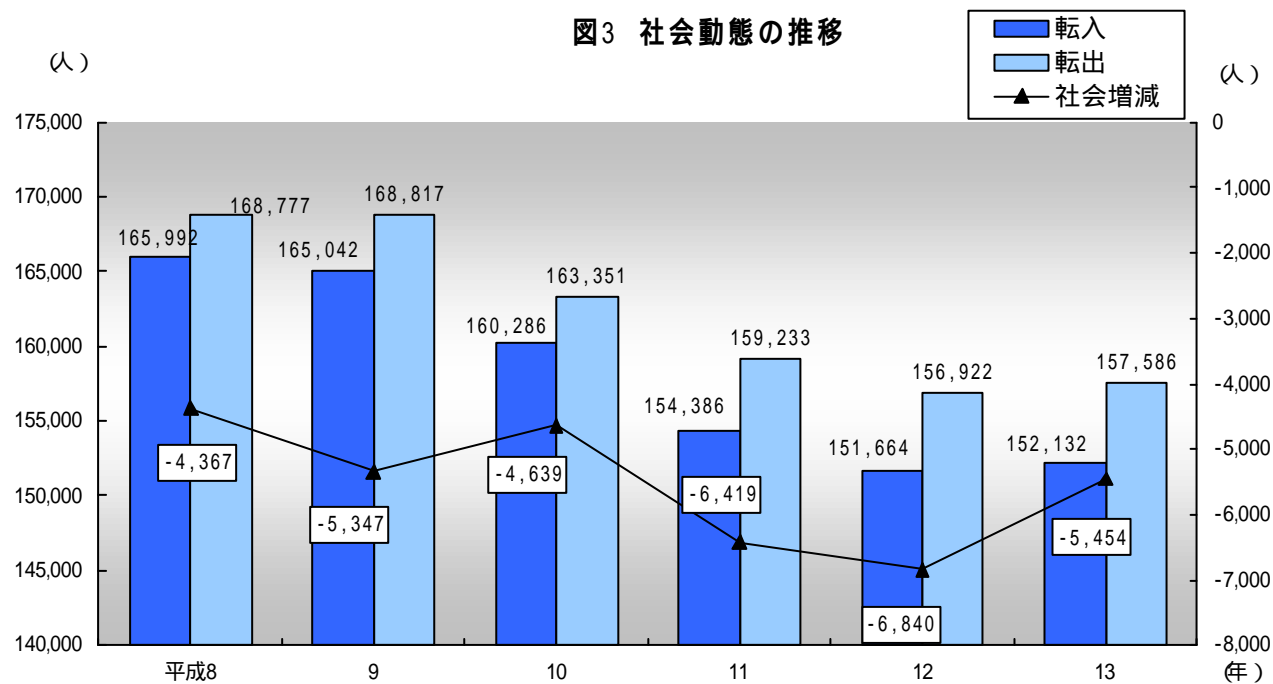
(2) 自然動態の推移

自然動態の状況を見ると、出生者数は27,660人と調査開始以来最低となった前年より509人(1.9%)増加し、死亡者数は前年より245人(1.0%)減少の23,239人となった。そのため、自然増加数は、前年より754人(20.6%)増加の4,421人となり、ここ3年間で最多となった。(図2)



(3) 社会動態の推移

社会動態の状況を見ると、転入者数及び転出者数は、前年に比べ、それぞれ468人(0.3%)、664人(0.4%)増加した。社会減少数は、前年を1,386人(20.2%)下回る5,454人となった。(図3)



2 市町村別人口

(1) 人口

人口を市郡別にみると、市部の人口は2,277,444人で、県人口の79.1%を占めている。郡部の人口は600,438人で、県人口の20.9%を占めている。

市部で人口が最も多いのは、広島市の1,129,817人(県人口に占める割合39.3%)で、次いで福山市、呉市の順となっている。また、最も少ないのは、庄原市の21,186人(同0.7%)で、次いで因島市、大竹市の順となっている。

郡部で人口が最も多いのは、府中町の50,053人(同1.7%)で、次いで神辺町、海田町の順となっている。また、最も少ないのは、吉和村の850人(同0.03%)で、次いで筒賀村、豊松村の順となっている。

(2) 人口増減

人口増減を市町村別にみると、市部では広島市(3,578人)、東広島市(1,568人)、福山市(832人)、廿日市市(745人)の4市では増加したが、他の市ではいずれも減少となっている。減少数が大きいのは、呉市(1,109人)、大竹市(370人)、竹原市(310人)などとなっている。

郡部で人口が増加したのは、大野町(208人)、神辺町(105人)、本郷町(68人)など5町で、減少したのは、府中町(620人)、音戸町(252人)、江田島町(225人)など68町村となっている。(表2)

人口増減のうち自然増減についてみると、自然増加数が大きいのは、市部では広島市(4,682人)、福山市(1,345人)、東広島市(714人)などで、郡部では府中町(227人)、海田町(223人)、神辺町(102人)などとなっている。一方、自然減少数が大きいのは、市部では呉市(322人)、因島市(163人)、庄原市(97人)などで、郡部では倉橋町(97人)、音戸町(90人)、江田島町(86人)などとなっている。

次に社会増減についてみると、市部で社会増加となったのは、東広島市(854人)、廿日市市(477人)の2市のみで、他はすべて社会減少となった。減少数が大きいのは、広島市(1,104人)、呉市(787人)、福山市(513人)などとなっている。郡部で社会増加数が大きいのは、大野町(166人)、本郷町(57人)、久井町(28人)などで、社会減少数が大きいのは府中町(847人)、熊野町(198人)、海田町(172人)などとなっている。(表3)

表 人口増減の大きい市町村

(単位:人)

増 減 の 大 き い 市				増 減 の 大 き い 町 村			
増 加		減 少		増 加		減 少	
市 名	増 加 数	市 名	減 少 数	町 村 名	増 加 数	町 村 名	減 少 数
広島市	3,578	呉市	1,109	大野町	208	府中町	620
東広島市	1,568	大竹市	370	神辺町	105	音戸町	252
福山市	832	竹原市	310	本郷町	68	江田島町	225
廿日市市	745	三原市	265	海田町	51	安芸津町	168
-	-	因島市	258	黒瀬町	2	沼隈町	165
-	-	府中市	203	-	-	大柿町	151
-	-	庄原市	184	-	-	佐伯町	142
-	-	尾道市	112	-	-	瀬戸田町	140
-	-	三次市	3	-	-	熊野町	136
-	-	-	-	-	-	東城町	130

表3 市町村別，要因別人口増減数

(単位:人)

自然増加		自然減少	
社会増加	東広島市 1,568 (854, 714)	黒瀬町 2 (21, 19)	久井町 26 (28, 54)
	廿日市市 745 (477, 268)	吉和村 3 (8, 11)	神三和町 36 (12, 48)
	大野町 208 (166, 42)	総領町 6 (10, 16)	内海町 43 (0, 43)
	神辺町 105 (3, 102)	豊松村 8 (0, 8)	向島町 46 (1, 47)
	本郷町 68 (57, 11)	甲田町 13 (6, 19)	高宮町 59 (17, 76)
	(2市, 3町)	芸北町 19 (3, 22)	河内町 65 (8, 73)
		豊栄町 23 (27, 50)	倉橋町 96 (1, 97)
		双三和町 25 (4, 29)	(15町村)
社会減少	広島市 3,578 (1,104, 4,682)	布野村 13 (6, 7)	東野町 72 (39, 33)
	福山市 832 (513, 1,345)	筒賀村 14 (4, 10)	御調町 72 (40, 32)
	海田町 51 (172, 223)	福富町 18 (4, 14)	向原町 76 (34, 42)
	三次市 3 (9, 6)	高野町 26 (21, 5)	湯来町 77 (37, 40)
	吉田町 85 (92, 7)	作木村 30 (17, 13)	千代田町 79 (46, 33)
	熊野町 136 (198, 62)	君田村 36 (13, 23)	世羅西町 85 (46, 39)
	三原市 265 (299, 34)	大朝町 37 (2, 35)	能美町 88 (37, 51)
	府中町 620 (847, 227)	口和町 37 (12, 25)	木江町 90 (47, 43)
	(4市, 4町)	比和町 41 (9, 32)	甲山町 97 (66, 31)
		吉舎町 43 (9, 34)	戸河内町 102 (55, 47)
		沖美町 46 (9, 37)	川尻町 107 (79, 28)
		三良坂町 47 (40, 7)	尾道市 112 (28, 84)
		上下町 49 (26, 23)	加計町 117 (77, 40)
		安浦町 50 (11, 39)	大和町 118 (93, 25)
		八千代町 50 (22, 28)	新市町 126 (92, 34)
		油木町 51 (23, 28)	東城町 130 (58, 72)
		大崎町 54 (29, 25)	瀬戸田町 140 (79, 61)
		豊浜町 54 (30, 24)	佐伯町 142 (109, 33)
		下蒲刈町 55 (23, 32)	大柿町 151 (69, 82)
		西城町 57 (14, 43)	沼隈町 165 (139, 26)
		世羅町 58 (13, 45)	安芸津町 168 (105, 63)
		蒲刈町 62 (22, 40)	庄原市 184 (87, 97)
		甲奴町 62 (29, 33)	府中市 203 (186, 17)
		坂町 63 (7, 56)	江田島町 225 (139, 86)
		美土里町 63 (23, 40)	音戸町 252 (162, 90)
		神石町 65 (20, 45)	因島市 258 (95, 163)
		宮島町 66 (44, 22)	竹原市 310 (228, 82)
		豊平町 70 (24, 46)	大竹市 370 (341, 29)
		豊町 71 (17, 54)	呉市 1,109 (787, 322)
			(7市, 51町村)

- 注1 〇〇〇〇は人口増加市町村である。
 2 表中の数値は，人口増加数（社会増加数，自然増加数）である。
 3 社会増加数は，人口増加数から自然増加数を差し引いて算出した。

3 広域行政圏別人口

人口を広域行政圏別にみると、最も多いのは広島圏の1,247,432人で、県人口の43.3%を占めている。また、最も少ないのは芸北圏の64,765人で、県人口に占める割合は2.3%となっている。

人口が増加したのは、広島圏(2,810人)、広島中央圏(652人)、など4圏域で、逆に人口が減少したのは、呉圏(2,366人)、尾三圏(1,091人)など4圏域となっている。(表4)

表 4 広域行政圏別人口

(単位：人，%)

圏 域	総人口		人口増減数			人口増減率		
	(13.10.1)	割合		自然増加	社会増加		自然増加	社会増加
県 総 数	2,877,882	100.0	1,033	4,421	5,454	0.04	0.15	0.19
広 島	1,247,432	43.3	2,810	5,138	2,328	0.23	0.41	0.19
広 島 西	154,576	5.4	295	175	120	0.19	0.11	0.08
呉	289,136	10.0	2,366	982	1,384	0.81	0.34	0.47
芸 北	64,765	2.3	784	431	353	1.20	0.66	0.54
広 島 中 央	225,667	7.8	652	287	365	0.29	0.13	0.16
尾 三	272,425	9.5	1,091	511	580	0.40	0.19	0.21
福山・府中	510,931	17.8	240	1,198	958	0.05	0.23	0.19
備 北	112,950	3.9	789	453	336	0.69	0.40	0.30